

神奈川の学校現場から

神奈川高教組
鳥山洋

1. 勤務校の概要

横浜市内の夜間定時制（全定並置校）

外国につながる生徒が多数在籍

2004、2005年頃から外国につながる生徒の入学が増え始める

2015年から新入生の数は減少傾向

外国につながる生徒の入学人数はさほど減らない ⇒ 在籍数に占める割合は増加

2. 進路を実現させる上で

進路未決定で卒業する者が多い（全体的にも）

「働くこと」に対する意識

親の意識は・・・？

アルバイトの実態

ロールモデルの不在

「家族滞在」の生徒にどう対応するか

そもそも、卒業に至らない生徒も少なくない

家庭・生活の課題にどう対応するか？

「日本に来たくて来たんじゃない」⇒ 学習へのモチベーションの低さ

抱える課題の幅が広がる ⇒ 適切な支援の窓口にうまくつなげられない

3. 「共生社会」にむけて・・・本校の実態から

全・定の間に・・・

「共生社会」とは？

日本語を母語としない卒業生の進路状況

【2017年度】

- ・ 総数 21名
- ・ 大学 4名
- ・ 短大 1名
- ・ 専門 5名
- ・ 就職 1名
- ・ アルバイト 2名
- ・ その他 8名

【2018年度】

- ・ 総数 20名
- ・ 大学 1名
- ・ 短大 なし
- ・ 専門 7名（無認可校 1）
- ・ 就職 3名
- ・ その他 9名（家業手伝い 1）